

新しい学校づくりに関する説明会 会議録 (町民会館)

I. 日 時	令和5年12月12日(火) 19:00~20:35
II. 場 所	町民会館 大集会室
III. 出席者	46名(うち議会議員8名) 教育委員会等出席者 17名
IV. 開催内容	
1. 開 会	中原課長
2. 挨拶	間嶋教育長
3. 説明事項	新しい学校づくりに向けた基本設計の修正案について (株)日建設計 より資料に基づき説明。 ※説明事項の前に、町民会館の解体及び事業費について中原課長より説明。
4. 意見交換	新しい学校づくりに向けたワークショップによる意見交換について 中原課長よりワークショップの流れについて説明。 ※意見・質疑等については別紙のとおり。
5. 閉 会	中原課長

以上

○意見・質問等について (12月12日 町民会館)

【ワークショップ開始前】

参加者①

○D案は決定なのか。

⇒前回配置計画の説明をした。議会でも検討しているところであり、教育委員会ではD案を前提として進めていきたいと考えている。(中原学校教育課長)

○変わることもあると考えてよいか。

⇒前提としてはD案で進めたいと思っている。議員による特別委員会や学校づくり検討委員会で今回の住民説明会の結果について報告をし、町民の皆様の意見の内容によっては変更もありうるかもわからないが、これまでのアンケートなどを踏まえ、本日についてはD案を前提でワークショップを進めていきたいと考えている。(中原学校教育課長)

○決定は議会で決めるということか。教育委員会では決定権がないのか。

⇒お見込みのとおりであり、我々は教育的見地から時間を掛けて検討しており、D案で取り進めていきたいと考えている。(中原学校教育課長)

参加者②

○まず、前回の説明会でAからDの案があったが、前段階として5月に決定している基本構想について学校を建てる場所を、小学校・中学校・総合公園とあるが、たった1ページで書かれている。前回の説明会では災害拠点として考えているのに、中学校のグラウンドは0.5m浸水するとの説明であったが、基本構想では一切示されていなかった。きちんとした情報をいただけない中でパブリックコメントをしても意味がない。

D案は町民会館を解体した前提だが、もっと町としてのやり方があったと思う。その点についてどう考えているのか。

⇒確認ですが、どの場所がいいかということをお聞きになりたいということか。(中原学校教育課長)

○情報が足りないので判断できない。

⇒場所の選定についてのお話があったので、なぜ中学校なのかということについて説明する。

立地については案として3つあり、小学校・中学校・総合公園で検討した。小学校敷地は、義務教育学校として建設する場合、約2万数千平米であり、面積が小さ過ぎる。総合公園は13ヘクタールの面積があり、都市公園となっている。学校を建設するための用地として約5ヘクタールを確保することから、都市公園法により総合公園で建てるとなると、その5ヘクタール分の土地を新たに購入しなくてはならない。

もう一つはハザードマップの問題で土地的に低いことからリスクがあるということがある。最後に中学校の敷地について、敷地面積など検討委員会などの議論の中で決定し進めている。(中原学校教育課長)

参加者③

○水がつかない話が出たと思うが、りふれとか保育園はどうなるのか。

それについて町としての姿勢を示してほしい。

⇒当時どのように進めたかわからないが、先ほどハザードマップも話したが、都市公園の機能も考えて、今現在、考えられるリスクとしてお答えしたものである。（中原学校教育課長）

○保育園はどういうわけかわからないけど、今の説明だったら、保育園は危ないのではないか。

⇒教育委員会としてはお答えできない。今から進めていく学校としては防災の拠点として、われらの選択として考えているものである。（中原学校教育課長）

参加者④

○みなさんの意見を伺うことが重要であるので個別に対応していただきたい。

【ワークショップ後の質問・意見について】

参加者⑤

○防災のことについてお聞きしたい。避難となると小学校に100台くることになる。グラウンドのかさ上げは考えているのか。

⇒災害時やイベント時などにおいては、低学年用グラウンドに100台以上、駐車できるように考えている。（日建設計）

○納得はしていないが、造成についても要望する。

参加者⑥

○校舎の形だが真四角にすればスペースがとれるのではないか。また、耐用年数も知りたい。

⇒まず、外側を見たときに見通しが良い形にしたいと考えた。子どもたちを取り囲む校舎としたく、無駄にスペースをとらず、コンパクトな造りとした。

耐用年数についてはコンクリートでは65年と言われているが、それ以上もつと考えている。我々としては100年もつ造りを考えている。（日建設計）

参加者⑦

○前回とどこが変わったのか、あまり説明がなかったような気がする。町民会館の解体を強引に進めようとしているように感じる。みんなが納得いかない中で、100年もつ学校をつくらうとしているが、100年に比べれば1年2年遅れてもいいのではないかと思う。じっくり考えてほしい。

○ジェンダーフリーとしてトイレの話があったが、小学生は使うだろうか。男子トイレの和式みたいに個室はあまり使わないのではないのか。100年後のこ

とも考えるなら男女分けた形で全個室にした方がいい。

○教職員の駐車場は遠すぎると思う。職員のストレスが教育に影響するのではないか。

⇒教職員の駐車場やトイレについても学校づくり検討委員会で議論しており、先生方にも入ってもらっている。今の設計は完成型ではないので今後、より良いものにしていきたいと考えている。（中原学校教育課長）

○職員室は壁がないのか。先生方も常時気を抜けないところもあると思う。

⇒職員室については、今まさに先生方と具体的に検討していく予定であるが、子どもたちが気軽に相談できるカウンターを考えている。その後ろに仕切などの設置も検討していく。（日建設計）

○基本設計は3月までに決まってしまうのか。

⇒基本設計は3月までの契約なのでそれまでに決定する。決まったことについては適正な形で公表する予定である。（中原学校教育課長）

○公表するといっても、公表結果はわれわれが適正じゃなければ、決定とはいえない。もう会議を開く必要はないということか。

⇒ご了解を得るのは大切なことである。住民説明会という観点では2回を予定しており、検討委員会や特別委員会に報告のうえ、取り進め方を検討していく。（中原学校教育課長）

○3月の議会までに町民会館の解体は決まってしまうということか。

⇒基本設計は3月までに決まる。町民会館の解体については議会のみなさまにもご議論いただく必要がある。（中原学校教育課長）

○3月までに町民会館がなくなるかどうか聞いている。

⇒議会で決められることだと思っている。（中原学校教育課長）

○町民会館が残るか残らないかを聞いている。議会が反対したら延ばせるのか。

⇒一旦基本設計は完了となる。町民会館は連動しているが町民会館の解体については別途議論される。（中原学校教育課長）

○基本設計はあとで変えられるのか。

⇒※別の参加者の方が補足「町民会館を壊さないということになればやりなおしになるということになる。」

⇒お見込みのとおりである。（中原学校教育課長）

参加者⑧

○この場は新しい学校をつくる会であるが、多くの人が町民会館のことが気になっていて、教育委員会は来ているが、町の責任者が来っていない。100年続く学校をつくるなら100年続くまちの方向性をまちの方から説明していただきたい。

新しい学校づくりに関する説明会 会議録 (南長沼会館)

I. 日 時	令和5年12月13日(水) 19:00~20:35
II. 場 所	南長沼会館
III. 出席者	17名(うち議会議員8名) 教育委員会等出席者 16名
IV. 開催内容	
1. 開 会	中原課長
2. 挨 拶	間嶋教育長
3. 説明事項	新しい学校づくりに向けた基本設計の修正案について (株)日建設計 より資料に基づき説明。 ※説明事項の前に、町民会館の解体及び事業費について中原課長より説明。
4. 意見交換	新しい学校づくりに向けたワークショップによる意見交換について 中原課長よりワークショップの流れについて説明。 ※意見・質疑等については別紙のとおり。
5. 閉 会	中原課長

以上

【ワークショップ後の質問・意見について】 (12月13日 南長沼会館)

参加者①

○教育長が出会いと交流のドラマと言っていた。私の子どもは小学生であるが、学校のカリキュラムがギチギチに詰まっており、休み時間も勉強していることもあると聞いている。キュビナなど課題も増えてきている状況であり、早来学園のカリキュラムのやり方など、校舎の設備だけでなく学校の運営の仕方についても考えていただきたい。

⇒おっしゃるとおり、器だけ作って終わりではないと思っている。教育委員会では小中一貫教育から始まって義務教育学校に向けて取り組んでおり、誰一人取り残さない教育の実現と一人一人の学びをしっかりと支えていくという大きなテーマを掲げて取り組んでいる。カリキュラム等についてご指摘のとおりであれば残念なことであり、変えていくための取り組みを今まさにやっている。学びの在り方についても開校までの3年の間に改善を図っていく。(間嶋教育長)

参加者②

○今の時代、地域の玄関と子どもたちの玄関が別々でセキュリティとして大丈夫なのか。今は一般の人が校舎に入るとき、インターホンを押してから入っている。一般開放についてはどのように考えているのか。

⇒私は早来学園の図書館を視察したときに、セキュリティについて本当に大丈夫なのか職員に確認をした。町民の方がたくさん施設に入ってくると、不審者が入ってこないとのことであった。地域と子どもが交流し続けることで、顔がわかり合って、不審者が入りづらくなるとのことで、つまり、地域住民が子どもたちを守ることになる。ゆるやかな交流によってセキュリティが高まっていく。ただ、運用の仕方については配慮していく必要があると考えている。(間嶋教育長)

参加者③

○町民会館の解体にかかる説明会のときに、新しい学校の一部を開放すると聞いた。サブアリーナは町民会館の大集会室程度の広さであるとのことだが、天井の高さは低いとのことであった。冠婚葬祭についてはそこでできるのか。

⇒あくまで学校施設であり、冠婚葬祭は想定していないためご理解をいただきたい。(居上税務住民課長)

○成人式などの開催はどうなるのか。

⇒はたちのつどいについては、土曜日曜、夜に開催するなど、一年前から日程を決めるので、町内的な事業はサブアリーナでも対応可能であると考えている(間嶋教育長)

参加者④

○町民会館というのは地域のコミュニティセンターである。小学校・中学校・コミュニティセンターを一つでやるのは無理だと思う。町民会館は別棟の方が使い勝手も良い。昼間は18クラスもあると、学校内の施設では大人はまず使え

ないと思う。そうであれば、コミュニティセンターとして相応しくないと思う。

⇒先日（12月11日）の町民会館での利用者説明会の時にもご回答いたしました
が、いただいたご意見につきましては町長に申し伝える。（居上税務住民課
長）

参加者⑤

○新しい校舎に防犯カメラの設置は考えているのか。先生が80名いても全て把握
するのは難しいと思う。

⇒先生方からも子どもたちの見守りに対するご意見をいただいております、9学年が
過ごす大きな建物となるので、先生方の見守りの補助や安全性を目的として、
防犯カメラは設計の立場からも必要であると考えている。具体的な設置場所な
ども含めて検討していく（日建設計）

参加者⑥

○校舎の模型を見たが、職員室は子どもが見えるところに設置されていない。あ
る千歳の学校では子どもたちが遊んでいるところが、見えて良いと聞いた。子
どもたちを見守るという観点ではいいのではないかと思います。

⇒校務センターをグラウンド側に置いた方が良いか、先生方にヒアリングを行っ
たが、来客の対応なども成立させるために校務センターを北側に配置する結論
に至った。（日建設計）

○子どもはいろいろな活動をするので、見守れるような校舎であってほしい。

○校舎の周りだが、健康づくりとしてウォーキングできるゾーンがあればいい。
（意見のみ）

参加者⑦

○児童生徒の玄関があって低学年グラウンドに出られる出口もあるようだが、低
学年グラウンドに向かうときは、上靴や外靴はどうするのか。外靴を置く玄関
が2つあるのか。それとも一回生徒玄関から靴を持ってきて履き替えるのか。

⇒各教室はかばんの他、十分な収納スペースを確保できるよう計画しているの
で、外靴を置くこともできる。基本的に生徒玄関は一つだけで想定している。
（日建設計）

参加者⑧

○意見ですが、施設がカクカクしていて死角が生まれるのではないかと。予算の問
題もあるが、丸くなるとういのではないかと。

⇒先ほども説明したが、大きな壁や長い廊下にならないよう見通しの良い造りと
している。死角については細かく検討していく。丸くすることも検討可能であ
るが、建設のコストコントロールも命題として与えられているので、それらも
含めて検討していく。（日建設計）

新しい学校づくりに関する説明会 会議録 (北長沼会館)

I. 日 時	令和5年12月15日(金) 19:00~20:40
II. 場 所	北長沼会館
III. 出席者	18名(うち議会議員5名) 教育委員会等出席者 16名
IV. 開催内容	
1. 開 会	中原課長
2. 挨 拶	間嶋教育長
3. 説明事項 4. 意見交換	<p>新しい学校づくりに向けた基本設計の修正案について (株)日建設計 より資料に基づき説明。</p> <p>※説明事項の前に、町民会館の解体及び事業費について中原課長より説明。</p> <p>新しい学校づくりに向けたワークショップによる意見交換について 中原課長よりワークショップの流れについて説明。</p> <p>※意見・質疑等については別紙のとおり。</p>
5. 閉 会	中原課長

以上

【ワークショップ後の質問・意見について】 (12月15日 北長沼会館)

参加者①

- サブアリーナの部分を3階建てにしてステージや音響を整備し、音楽活動ができる施設にしてほしい。安平町のことを聞いて可能なかと思った。町民会館でいろいろな会がある。できるだけ町民会館の機能を入れてほしい。
- ⇒サブアリーナは町民会館の大集会室程度であり、仮設のステージや音響も検討しており、出来る限り整備していく。(中原学校教育課長)
- ⇒新しい学校に町民会館の一部の機能を取り入れることとしているが、足りない部分や代替施設が必要であるとのこと要望については町長に伝えている。とりあえずは既存の施設を使っていただくようご理解いただきたい。(居上税務住民課長)

参加者②

- 新しい学校を作ることはいいと思う。ただ、町民会館を壊すことが前提になっており、ピアノの講演などたくさんの方がいるので、引き続き使うことや発展させることなど、両方を考えないといけない。地域に開かれた学校は大賛成だが、そう簡単にはいかないと思う。今現在、「ぽっくる」は地域に開かれたものになっていない。あまりにも急すぎる。来年までは絶対なのか。もっと議論する必要がある。
- ⇒グランドピアノのことについては、現状ではりふれの3世代交流には入れることができないが、内部に入れることができるよう検討している。そのほかのご意見については、町長に申し伝える。(居上税務住民課長)

参加者③

- 学校は早々にやってほしい。中身のことは検討委員会など有識者で話し合っ決めてもらえばと思う。サブアリーナは飲食できないのではないかと思う。小学校と中学校が一緒になれば、今の小学校は壊すのか。そこに町民会館の新設はないのか。プールとかは新校舎にないので、バスで移動するのか。学校前の道路はどうするのか。車が出てきて危ないのではないか。道路の拡張についても検討してほしいなどいろいろあるが、学校を作ることは大賛成である。ただ、町民会館は町民のためのものである。解体すれば集う所がなくなってしまう。町民会館を別に建てることはないのか。小学校は壊すことになるのか。
- ⇒小学校は新しい学校が完成する令和9年3月までは存在する。その後どうするのかについてはまだ決まっていない。設計が進んでからの議論になる。プールについては授業であることから、スクールバスでお子さんたちを送り迎えすることを考えている。道路については、安全確保に努めつつ、担当に申し伝える。

参加者④

- 一つだけ気になるが、正面玄関からの階段があるが火事の際の対応について、火の回りが早いのではないかと思う。シャッターはあるのか。今の学校には外階段があり避難できると思う。

⇒建築基準法や消防法など関係法令に基づいて設計しており、正面階段は避難でも使用するものである。防火区画を設計に入れていく。避難ルートの考え方はなるべく日常で使っているルートに統一した方が混乱しないことが計画上望ましいとされており、児童生徒が安全で迷わず避難できる施設にしていきたい。
(日建設計)

参加者⑤

○避難の話が出たが低学年は各教室から教材園の方向へ出ることができるのか。
⇒直接出られる窓の仕様となっている。

○外構について野球場などもあるが、前庭はそのままとなっており、あまり使っていないとの声も聞く。前庭のスペースは遊具や駐車場にできるのではないか。

⇒検討委員会で伝えていく。(中原学校教育課長)

参加者⑥

○自転車置場はどこにあるのか。

⇒中学校通りの部分(新校舎の北側)に設置を予定している。(中原学校教育課長)

○残り3年間の既存校舎における暑さ対策について検討をお願いしたい。

⇒夏休み期間を校長会とも協議して、夏休みを30日、冬休みを20日にすることを考えている。また、既存の学校については、令和6年度の予算で普通教室に整備できるよう、前向きに検討している。(中原学校教育課長)

参加者⑦

○新しい学校で葬儀はできるのか。

⇒学校施設となるのでできない。(中原学校教育課長)

⇒近隣では寺院や民間施設を利用するケースが多く、そのようなご利用をお願いしたい。(居上税務住民課長)